

## 農・商コラボの定期市（あんと市）開催事業

### 取り組みに至る背景・事業の目的

- 農家と商店が力を合わせ活気を呼び込もうと発足した信州中野ゆめ倶楽部。会員を中心に農家と市街地商店が協力し合って中野産のこだわりのきのこ、果樹、野菜等の農産物、特産品などを販売する街路市「あんと市」を定期的で開催し、市街地の賑わいと経済波及効果の創出を図ることを目的としている。
- 「あんと市」の名称からも伺えるとおおり、この市に携わるすべての人が「ありがとう」の感謝の気持ちを持ち、この場にいる人全てが笑顔で楽しめる空間を作り上げる、そんな素敵な人々、素晴らしい品々、満面の笑みが迎えてくれる場所づくり、元気なまちづくりを目指している。

### 事業内容

農・商コラボ街路市の魅力とイメージをさらにアップするため、開催時に使用する販売台や看板、お休み処の縁台等を製作設置したほか、出店者の増強や出品内容の充実を図った。

さらに広報に力を入れるべく隣接の山ノ内町の旅館や観光施設等へチラシを配付、ホームページの開設も行った。

開催回数は春から秋にかけて計14回に及び、季節に合わせたイベント（ひな市、ビアガーデン、夕市夏祭り、ぶどうまつり等）との同時開催など工夫も凝らし好評を博した。



【市当日の様子】

### 事業効果

- 会員同士の横の繋がりのもとより、商店街、来訪者との連携交流も深まり、季節に合わせたイベントとの新規同時開催は親子での参加も誘引、集客力と認知度のアップに大いに役立った。
- あんと市に刺激されて周辺の商店会や各種団体が休止していたイベントを復活させたり、都心のお客様への新たな販路開拓に結びついた例や他の観光施設での新規販売に結びついた例も見られた。
- 幅広い品揃えの中、顔の見える販売で訪れる人々との交流も楽しく、明るく元気なまちづくりに大きく貢献している。
- あんと市の定着に向けた基盤づくりとして、周辺観光エリアのなかでの憩い、交流空間としての雰囲気づくりが図られた。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

あんと市で販売される商品は独自性に富み、付加価値が高いものが多く大変魅力的である。日常的に消費されるお買い得感のあるものから、プロが唸りマニアに受ける商品まで、多種多様なものを取り揃えていて、自分で作ったこれら商品を自分で説明しながら売るといふ、まさに安全、安心を謳う「顔の見える販売」を身をもって実践しているものである。

今後とも、出店者が新たなビジネスチャンスを掴むことができ、かつ訪れる人との交流があらゆる可能性をもたらす、そして出来れば将来、この場所だけで北信州全部を楽しめるようなイベントにまで発展させたいとの強い意気込みを持っている。

#### 【選定のポイント】

農と商のコラボレーションにより新たな形での市街地の賑わい創出を目指している。

団体名	信州中野ゆめ倶楽部（中野市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	事務局 仁科 通 電話 0269-22-2211	事業費	1,407,500円
メールアドレス	nishina@ak.wakwak.com	支援金額	1,270,000円